The Hybrid Atelier:
AIと人間の共創が導くパッケージデザイン変革

商品企画統合AIプラットフォーム「Crepo」導入・運用プレイブック

1,000社+

大手消費財メーカーを中心とした
圧倒的な導入実績

1/3へ短縮

従来6ヶ月の開発期間が
最短2ヶ月へ。合意形成の迅速化

相関係数

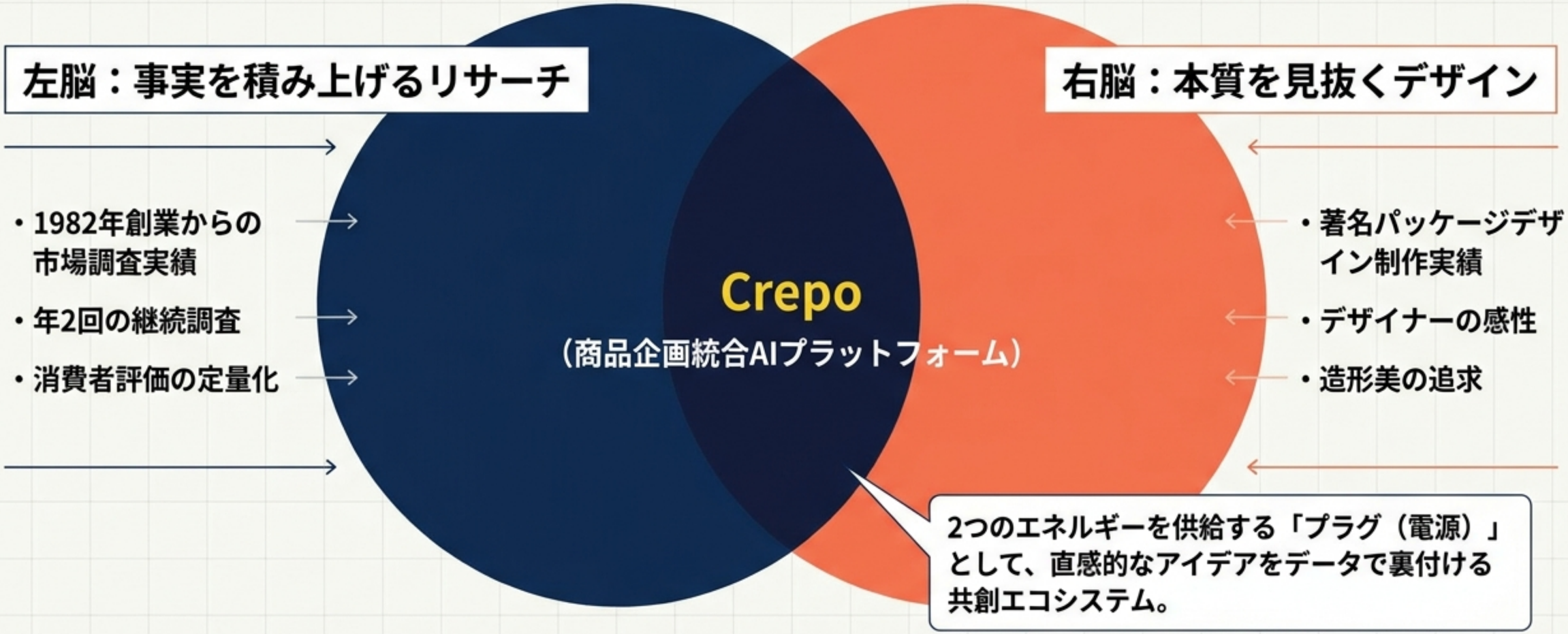
0.793

1,655万人データ基盤による、
AI予測値と実測値の極めて高い相関

Gemini Notebook

AIの根底にある「左脳×右脳」のハイブリッド思想

汎用AIとは異なり、Crepoは40年以上の歴史を持つ市場調査（事実）とデザイン（本質）の融合から生まれた特化型AIです。



Gemini Notebook

商品企画から売場検証まで：一気通貫の統合ワークフロー

従来は分断されていた企画、制作、調査の工程を3つの階層（Function）に統合。
AIが幅出しとスクリーニングを担い、人間が最終仕上げを行う分業構造を実現。

Step 1: コンセプト・AI生成（発散）



Function 01/02: コンセプト立案から多様なデザインへ分岐。

Step 2: AI消費者評価（スクリーニング）



Function 03: 好意度スコアと視認性ヒートマップによる定量評価。

Step 3: 棚評価・最終仕上げ（収束）



店頭陳列での検証と、人間のデザイナーによる造形・印刷データの完成。

Gemini Notebook

上流・視覚化工程：数秒で100案を生み出す「アイデアの爆発」

複雑なプロンプトは不要。40年のノウハウが組み込まれたアシスト機能により、ベテランと同水準の企画を即座に視覚化し、社内共有（企画の7合目）を可能にします。

ユーザー入力

- 5つの発想アプローチ (トレンド/課題等)
- チャット壁打ち

AI Blackbox

プロンプト自動生成アシスト (40年の知見)

ネーミング・コピー

数秒で30〜100案。商標登録状態の事前確認機能付きで法務手戻りを抑止。

パッケージデザイン

カテゴリー（食品・化粧品等等）に応じた複数案同時生成。

KV・プロダクト

企画書用キービジュアルや容器の筐体デザインまで対応。



Gemini Notebook

検証工程：約10秒で消費者反応を予測するAI評価メカニズム

国内55カテゴリーに対応。単なる画像の生成にとどまらず、消費者の好意度、視認性、定性的な印象を即座に数値化し、客観的な意思決定を支援します。

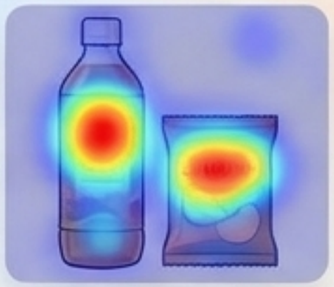
定量スコア（好意度とバラツキ）



1〜5の加重平均予測。20〜50代男女8セグメント指定。最大10案同時比較。標準偏差による「マス向け」か「エッジ重視」かの見極め。



視覚的注目度（ヒートマップ）



単体および店頭棚での消費者記憶・印象予測。赤＝注目度高、青＝低。



定性印象（19のイメージワード）

「高級感」「おいしそう」「清潔」など19項目をスコア化。企画意図とのズレを客観視。改善提案付きの一括レポート出力対応。

Gemini Notebook

グローバル対応：アジア現地の消費者インサイトを数秒で獲得

現地20〜50代男女の独自調査に基づく専用AIモデル。
インテージHDとの提携により、国境を越えた受容性検証をデスク上で完結。

中国（26カテゴリー）

「メンズコスメ」
「メイクアップ化粧品」
に対応。

タイ（24カテゴリー）

現地の生活習慣を反映し
「水」「果物・野菜飲料」を
独立カテゴリー化。

インドネシア（26カテゴリー）

アルコール類を除外する一方、
「医薬品」

「消臭・芳香剤」に対応。

インテージグループ（各現地法人）との提携による現地語サポート対応

Gemini Notebook

信頼性の根拠：1,655万人のデータ基盤とマルチモーダル予測

Webの無差別な学習ではなく、統制された独自の消費者調査データを年2回継続蓄積。
東京大学（山崎研究室）との共同研究による高精度モデル。

累計消費者調査データ規模の推移

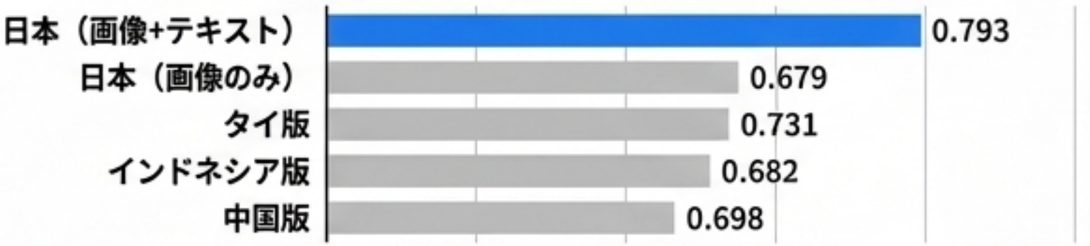


2015年からのデータ蓄積。年2回更新によるトレンド反映。

予測精度の指標

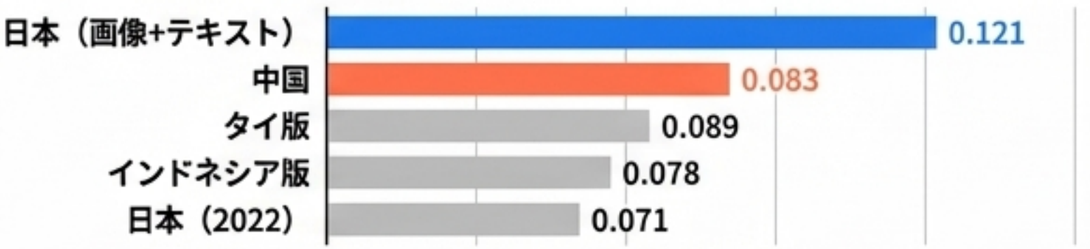
相関係数: 日本（画像+テキスト）= 0.793

「マルチモーダル（視覚+言語）」により精度が劇的向上。



平均絶対誤差（MAE）: 日本（画像+テキスト）= 0.121

最大値5に対し誤差約3%。



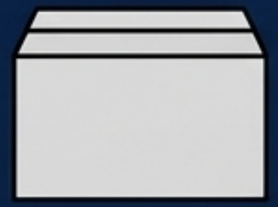
注意：中国版は誤差は最小（0.083）だが相関係数は中程度(0.520)。僅差の順位付けはイメージワード等との併用推奨。

精度を担保する入力条件：実務者が遵守すべき画像ルール

AIは明度・彩度のわずかな違いも予測に反映します。
比較条件を統制し、正しい予測値を得るための厳格な仕様定義。

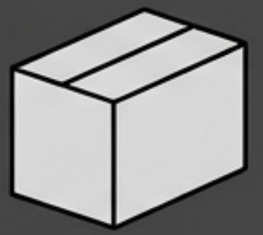
✓ 構図と形式

RGB形式の真正面画像



✗ 構図と形式

CMYK形式（変色リスク）、
斜度のある画像、展開図



✓ トーン＆マナー

比較案間で画質・
明度・陰影を統一



✗ トーン＆マナー

過度な陰影、
実物と乖離した質感



✓ 文字情報の制限

商品名、キャッチコピー、
味種の3点のみ入力

✗ 文字情報の制限

パッケージ外の余計な要素、企業名・
成分表示などの評価対象外テキストの入力

Gemini Notebook

Hybrid Atelier

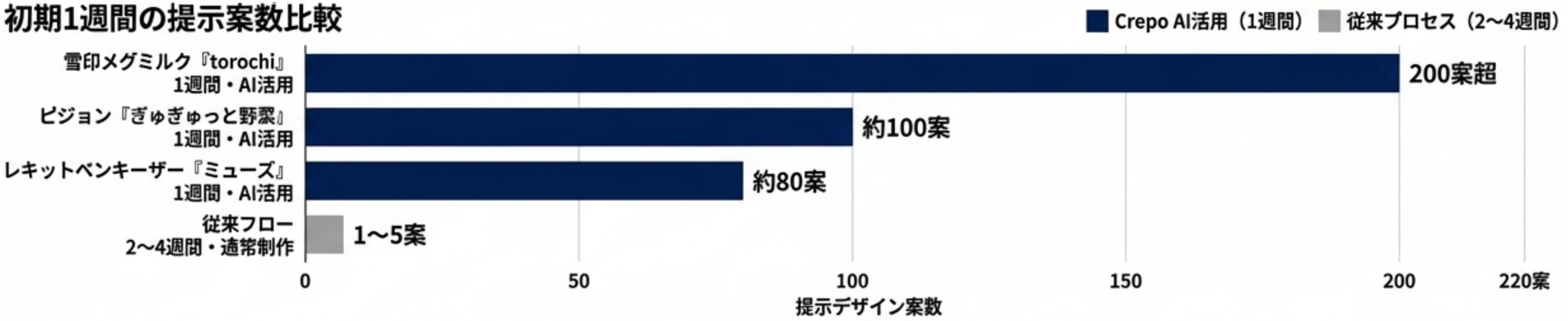
導入インパクト：初期検討の飛躍的拡大と開発期間の短縮

1,000社以上の導入企業では、デザイン制作費の節約ではなく「合意形成の迅速化」と「データに基づく売上向上」という事業インパクトが生じています。

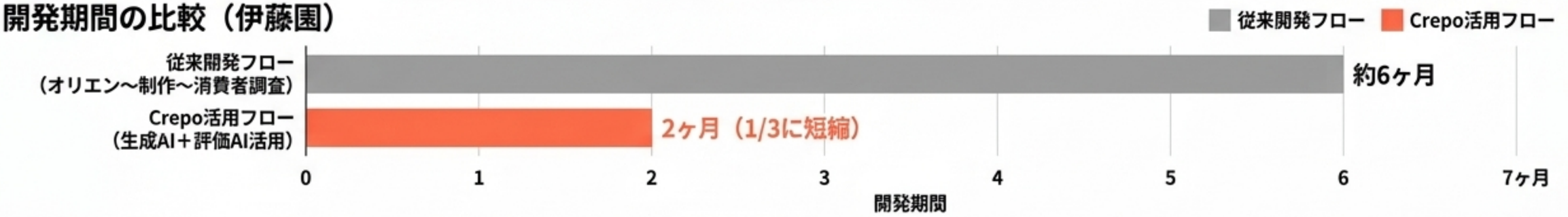
1.3倍
カルビー:「クランチポテト」リニューアル後売上
リニューアル前との売上比較

2ヶ月間で4回
王子ネピア:の仮説検証サイクル実現
デザインリニューアル時の高速検証

初期1週間の提示案数比較



開発期間の比較（伊藤園）



Gemini Notebook

Hybrid Atelier

料金体系の構造：定額プランと従量課金の境界線

利用頻度や組織規模に応じた「生成」と「評価」の2軸のプラン。
予期せぬ追加コストを防ぐため、定額内の範囲を明確に定義しています。

生成プラン（1年契約）

月額 30万円〜

- コンセプト・ネーミング・KV制作 使い放題
- パッケージ30案生成は「月5回」まで含まれる

評価プラン（1年契約）

月額 50万円〜

- 国内モデルの好意度・ヒートマップ・分析一括レポート等の使い放題

アドホック（スポット利用）：評価1画像 2万円 / パッケージ30案生成1回 5万円

⚠ **別途課金項目（要注意）：評価プラン定額契約中でも「棚ヒートマップ」と「海外AIモデル（中国・タイ・インドネシア）」は、1枚/1画像あたり別途2万円の従量課金が発生。**

Gemini Notebook

ROIシミュレーション：定額利用がアドホックを下回る損益分岐点

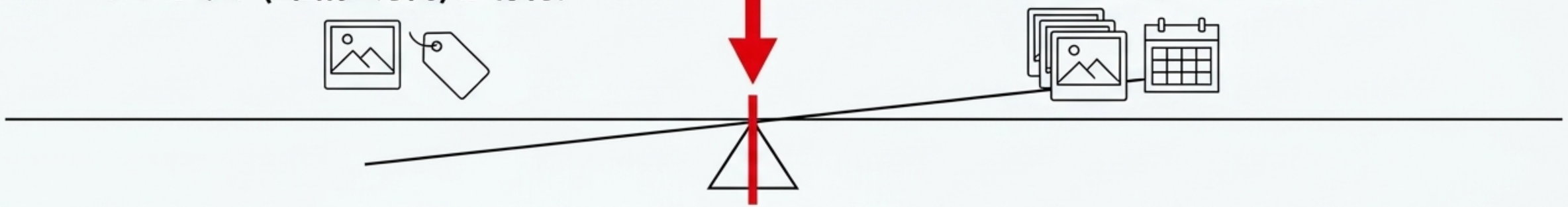
Hybrid Atelier

従来の消費者調査（数百万円・1~3ヶ月）を代替し、月間25画像以上の評価を行う組織であれば、定額プランが圧倒的なコストメリットを生みます。

月間24画像以下:
アドホック(1画像2万円) が有利。

**損益分岐点:
月間25画像**

月間25画像以上:
1年契約 (月額50万円) が逆転。



84万円での損益分岐点シミュレーション（評価30枚、生成4回、追加2枚の場合）



月額84万円で同額になるケースの試算：評価30枚＋生成4回＋追加(棚/海外)2枚の場合、アドホック合算は84万。
一方、1年契約合算なら基本50万＋30万＋追加4万=84万で同額となり、これ以上使えば定額が圧倒的にお得になります。

Hybrid Atelier
Gemini Notebook

実務原則：「AIは3割、人間が7割」のハイブリッド運用

AIは完成品を出力するツールではありません。議論を深めるための「コンセプトスケッチ」として扱い、最終造形は人間のデザイナーが担う必要があります。



アイデアの創出・幅出し。
偶発性による発想の飛躍。
システム単体ではDTP・Illustrator等の
最終入稿データ作成は不可。

造形完成・微調整・入稿。
AIの出力画像は「整っているが曖昧な魅力に欠ける」傾向があるため、デザイナーがゴールを見定めて作り直す工程が不可欠。

Gemini Notebook

法的・社会的リスクを防ぐ5つの知財防衛策

著作権侵害（学習はOK・使用は慎重）や意匠権の新規性喪失リスクを構造的に回避するため、実務フローに組み込むべき5つの防御策。

1. Google画像検索による類似確認:
既存デザインやイラストとの酷似を事前照合。

2. デザイナーによる再制作（作り直し）:
生成物は参考スケッチに留め、そのまま流用せず人間が描き起こす（最重要対策）。

3. プロンプトログの全件保存:
意図的な依拠・模倣ではないことの事後証明。

4. 複数AIの活用と言語化された評価:
感覚に頼らず、明確な選定基準（ブランドらしさ等）を言語化。

5. 社内情報管理体制の整備:
AI生成画像の安易なネット公開禁止（意匠権喪失防止）。

Hybrid Atelier

Hybrid Atelier

エンタープライズ水準のセキュリティとデータライフサイクル

発売前の機密情報を守るため、ISO認証に基づく厳格なアクセス制御と、入力データをAI学習に利用しないクローズド環境を保証します。

Security Protocols



- ISO/IEC 27017取得
- SMSワンタイムパスワード（多要素認証）、アカウントロック機能実装
- ノー・トレーニング・ポリシー: 入力画像および生成プロンプトは、AIのモデル学習には利用されない



※ プロジェクト結果（PDF/CSV）は退会まで保持。
二次利用（バイヤーへの商談提案等への限定開示）は規約上適法。

Gemini Notebook

競合ポジショニングと導入判断フレームワーク

クリエイティブ評価AI市場における各社のアプローチの違いを理解し、自社の課題解決に最適なツールを選択するための最終指針。

クリエイティブ評価AI市場 競合比較マトリクス

Crepo（プラグ）	消費者アンケート予測。上流から評価まで一気通貫。アジア対応。
TOPPAN（ニューロデザイン）	「生体反応（脳活動等）」の予測評価。
感性AI	「音の響き・語感分析」と手頃な定額利用。
DNP（AI審査）	入稿前後の「法規・薬機法チェック」。Crepoの下流工程を補完。

Crepoを導入すべき組織像

- ☑ デザイン案の合意形成に時間がかかり、手戻りが常態化している。
- ☑ 予算と納期の制約で、少数の案しか消費者調査にかけられていない。
- ☑ 国内で月間25画像以上の評価ニーズ、またはアジア展開がある。

Next Step: まずは無料の5枚評価枠で、過去の自社リニューアル実績との整合性テストを推奨。

Gemini Notebook